

通院介護事業

高知県でも

江頭会長オルグへ

一月三十一日(日) 十三時半より、四国・高知県の高知城ホールで、社会福祉・医療事業団助成事業「通院介護を考えるつどい」が、高知県腎臓病患者友の会主催で開催されました。

北九州市の「さわやか」を参考にして、高知県でも通院介護事業を行いたいとして、催されたものです。

高知城ホールには、約百名の患者、スタッフなどがつどいしました。

中村高賢会会長の挨拶のあと、高知高須病院々長・寺尾尚民先生が、通院介護についての、実態調査に基づいた話をスライドで説明されました。

アメリカの透析事情もまじえて、分かりやすく話されました。

引き続き、「さわやか」江頭会長が演壇に立ち、「北九州市における通院介護事業の経過と問題点」について、話しました。

福祉制度は申請制度であり

黙っていても、その恩恵に預からないばかりか、権利は侵害されてゆきます。行政には声を上げてゆかないと、私たちの権利はまもれません。

北九州市においては、七年にわたる陳情や請願の結果、

ようやく、通院介護事業が出来ることになりました。仲間が仲間を支援することから、発展し、現在は、月三百回の送迎をするにいたりしました。

「さわやか」では、コーディネーターの果たす役割が大変重要です。また、ボランティアの皆さんが、熱心に頑張っていたらいてくれることも報告しました。

「ボランティア研修交流会」や「さわやか新聞」などを発行したえずボランティアさんとの接触を保つことも重要なことである、などと発言し、高知県の患者の皆さんに訴えました。

昨年十月一日に佐賀県で通

院介護事業が設立され、今度は、高知県で設立されようとしています。

ボランティアネットワーク

(アンケートより)

全国的先進として、「さわやか」が順調に推移し、模範となるような事業が期待されています。

※保 本 勇 一 郎
小倉南区津田

◎応募の動機

私自身が透析をしていますので実際に動けない人達をこの目で見ていたので、本当に困っている人達の手助けになると思い始めました。

◎「さわやか」に一言

現在のままでよいと思えます。

◎趣味・特技

社交ダンス

◎ボランティア活動とは

患者さん達の話を聞くこと本当にボランティアは大事なことと思えます。末永く続くことを祈ります。

※川 口 秀 之 さん
八幡東区松尾町

◎応募の動機

長い期間野球をやっていたので、その方面で指導等おこがましく考えていたが、心臓に欠陥が発生、主治医と相談何かの役に立ちたいと考えたので今回参加した次第です。

◎「さわやか」に一言

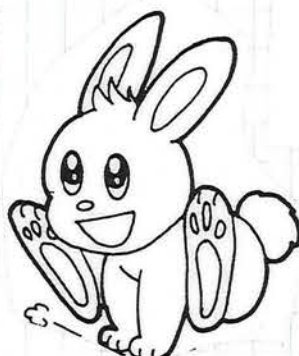
始めたばかりです。その内具申したい。

◎趣味・特技

スポーツ、特に野球、囲碁

◎ボランティア活動とは

安全と信頼



ボランティア研修交流会

4月18日(日)

会費 4000円

集合：8：00 小倉駅KMMビル前

8：30 JR八幡駅前

目的地：呼子(詳細はチラシで)

ジューラに乗って鯛やヒラメの舞踊りを見よう!

役員会のお知らせ

通院介護センター「さわやか」役員会を二月十八日(木)十五時半より、八幡事業所で開催します。

今年度最後の役員会になります。議題は、来年度の事業計画の作成、今年度事業の決算、職員の賃金、関係団体との協力共同について、などを

討議する予定です。

市からの助成金で、事業をしておりますので、市障害福祉課による、決算報告、事業計画が厳格に調査されます。

事業は財政問題も含め順調に推移しています。来年度もボランティアの皆さん、よろしく願います。